

平成29年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (平成28年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①国際理解教育のさらなる充実。 ②基礎学力の定着と応用力の伸長。	①国際理解を深めるための学習の機会を増やし、内容の充実を図る。 ②基礎力の定着と応用力の伸長を目指した授業研究を充実させ、内容の充実を図る。	①留学生を積極的に受け入れ、相互の学習の機会を増やす。 ②家庭学習を習慣化させる取り組みを行う。「主体的、対話的で深い学び」を授業改善目標とし、教員研修等を通じて目標の実現を図る。	①留学生との交流会を3回以上実施したか。 ②生徒に家庭学習の習慣はついたか。職員全体での研修会を実施できたか。各教科ごとの協議によって主体的、対話的な授業づくりを実施し、全体で成果を共有できたか。					
2 生徒指導・支援	①社会的自立と社会性の育成。 ②豊かな人間性を培い、社会に貢献できる人材の育成。	①磯子モラル(社会人として求められる行動)を定着させる。 ②生徒主体の学校行事運営によるリーダーシップを育成する。	①制服指導、交通指導などの指導を通して、生徒の規範意識の向上を目指す。 ②挨拶がしっかりできるようにする。 ③生徒が主体的に行事に参加し、リーダーとなれるような人材を引き出す。 ④部活動の活性化を図り、持続できるよう支援する。	①生徒に適切な制服指導ができたか。また生徒にルールを守ることの重要性を指導できたか。 ②生徒に挨拶が定着したか。 ③委員会や生徒会執行部の活動を進めることができたか。 ④部活動入部率50%以上であったか。					
3 進路指導・支援	①自己のより高い進路実現にチャレンジする生徒の育成。 ②職業的自立と将来を見据えたキャリア教育の充実。	①生徒一人ひとりの現状を把握し、より高い目標設定ができる進路支援を行う。 ②自己理解と適正を踏まえた職業観育成を目指し、インターンシップの充実を図る。	①進路実現を目指した進路相談やガイダンスの充実を図る。 ②職業意識を養うためにインターンシップ等の情報を積極的に発信する。	①ガイダンスの回数や進路状況に改善がみられたか。 ②インターンシップの振り返りアンケートで、7割以上がやや満足以上であったか。					
4 地域等との協働	①地域に根ざした学校を目指し、双方の教育力の最大限の活用。 ②地域防災との連携推進。	①地域から学び、また地域に対し本校の教育力を還元する機会を充実させる。	①せせらぎ学校を実施し、地域の教育力を活用する。 ②子どもワクワク体験を実施し、地域の子どもたちに体験学習の機会を与える。	①せせらぎ学校に50名以上の講師を招いて実施できたか。 ②子どもワクワク体験の講座を3講座以上開講できたか。					
5 学校管理 学校運営	①事故・不祥事ゼロの実現。 ②再編・統合及び完校に向けた取組の推進。	①不祥事防止に対する研修会の充実を図り、職員の意識を高め不祥事ゼロを実践する。 ②40周年記念事業を実施するとともに、再編・統合を視野に入れた取組を推進させる。	①研修会を通じて職員の危機管理意識を向上させる。 ②磯子高校らしい40周年記念事業を企画立案していく。	①不祥事・事故ゼロ目標を達成できたか。 ②職員・生徒・PTAのアイデアや意見を反映できたか。					